

【施設状況】

グループ名称	吉田公民館、吉田老人福祉センター								
指定管理者名	吉田地区住民自治協議会					法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副	101000	高齢者活躍支援課			
構成施設	吉田公民館								
	吉田老人福祉センター								
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	【公民館】：教室1、教室2、教室3、教室4、大教室、和室・茶室、音楽室、調理室、多目的ホール、図書館分室、資料室 【老人福祉センター】：ボランティアルーム1 共通：事務室								
施設設置目的	【公民館】：地域住民の生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業の拠点として、より開かれた身近な地域の中心施設としてまちづくりに貢献することを目的とする。 【老人福祉センター】：高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーション等の便宜を供与するとともに、地域における福祉活動の場を提供し、高齢者の福祉向上を図る。								
基本方針等	【公民館】：社会教育法の規定に基づき、住民のために实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するという設置理念に基づき管理運営を行う。 【老人福祉センター】：施設の適正な維持管理に努めるとともに、地域福祉活動の場の提供、生きがいづくり講座の開催等の事業を推進することにより、施設の設置目的である高齢者福祉の向上、高齢者の心身の健康増進を図る。								
主な実施事業	【公民館】：定期講座を開催すること。討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。体育、レクリエーション等に関する集會を開催すること。各種の団体、機関等の連絡を図ること。その施設を住民の集會その他の公共的利用に供すること。貸館に関すること。 【老人福祉センター】：高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。講座等運営業務及び地域福祉活動に関する集會等を行う者への会場提供業務。								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	吉田地区住民自治協議会	指定回数	1 回	
指定期間	平成29年4月1日 ~ 令和2年3月31日	3年	管理運営開始日 平成29年4月1日	
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。			評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)			3

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H27	H28	H29	H30	対前年比	評価
	吉田公民館 利用者数	人	65,795	55,155	54,750	55,104	101%	3
	吉田公民館 利用率	%	39.4	36.5	35.4	36.5	103%	
	老福：生きがづくり講座受講者数	人	3,111	3,806	3,675	3,679	100%	
	老福：地域福祉活動利用者数	人	2,795	2,296	2,866	1,425	50%	
	老福：グループ活動利用者数	人	2,972	2,974	2,707	1,570	58%	
							#DIV/0!	
						#DIV/0!		
(特記事項)								

事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案	追加事業、未実施事業及び未実施の理由
	市指定事業	【公民館】 ・公民館の利用の許可に関する業務・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・公民館の施設及び設備の維持管理に関する業務・公民館の付帯設備及び物品の維持管理に関する業務 【老人福祉センター】 ・地域福祉活動に係る相談、指導及び調整・地域ボランティアの育成・地域福祉活動に関する講習会等の開催・地域福祉活動を行う者への会場提供・各種相談及び情報提供・高齢者を対象とする講座等の開催・高齢者のクラブ活動等の育成	
	自主事業		

サービス維持・向上の取組み(広報等)	【公民館】【老人福祉センター】共通 公民館報2回、センターだより3回及び各種チラシを地域に全戸回覧した。また「広報ながの」「生涯学習だより」等への掲載、市民新聞や週刊ながのへの記事掲載等事業活動や各種講座の情報など広く周知した。
--------------------	---

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容	評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート (2) 調査、会議等の内容 【公民館】 学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。貸館利用へは、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。 【老人福祉センター】 「生きがづくり講座」の受講者を対象に、中間アンケートを実施した。 (3) 調査、会議等の結果 【公民館】(実施した各学級講座のうち3講座を抜粋) 「実用書道講座」受講者42人中34人から回答 講座内容に対する満足度：満足73.5%、やや満足23.5%、やや不満3% 「マインドフルネスと禅の呼吸法」受講者15人中13人から回答 講座内容に対する満足度：満足84.6%、やや満足15.4% 「春のハーバリウム講座」受講者20人中16人から回答 講座内容に対する満足度：満足87.5%、やや満足12.5% 【老人福祉センター】 ①性別：男性23%、女性77% ②受講の動機：健康のため47%、内容に興味があった29%、興味を広めるため21%、人から誘われて3% ③講座内容に対する満足度：満足64%、まあ満足28%、やや不満6%、不満2% ④講師に対する満足度：とても満足64%、満足23%、まあ満足6%、やや不満7%	4
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 【公民館】 「実用書道講座」講師が細かい所まで教えてくれてわかり易かった。平仮名・片仮名の出来た経過が勉強になった。「マインドフルネスと禅の呼吸法」気持ちが落ち着き考え方を新たにすることができた。腹式呼吸で心を静かにすることができた。 「春のハーバリウム講座」以前から興味があり、参加できてよかった。同じ講座を再度受講したい。 【老人福祉センター】講師が作品の良い所を見つけて褒めてくれるので、楽しんで継続ができる。講師の指導が丁寧で、熱心なところが良い。食材の活用法が豊富で、レシピ以外のことも教えてもらえる。 (2) 苦情・改善等の要望事項 【公民館】 「実用書道講座」・4回では足りない。さらに同講座の回数を増やしてほしい。・初心者としてはついていくのがたいへんだった。初心者向けの講座を開講してほしい。 【老人福祉センター】 特になし ≪対応措置≫ 【公民館】 「実用書道講座」回数や内容(レベル)について、講師と相談し検討していく。 【老人福祉センター】		

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成30年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	570,000	利用料金	534,500	歳入	使用料	107,540	使用料	92,090
	指定管理料	27,018,000	指定管理料	27,018,000		雑（納付金）	1,822,613	雑（納付金）	42,960
	委託料		委託料			行政財産 目的外使用料		行政財産 目的外使用料	
	販売収入等		販売収入等			貸付料		貸付料	
	その他収入	1,893,826	その他収入	1,488,414		その他		その他	
	計	29,481,826	計	29,040,914		計	1,930,153	計	135,050
支出	人件費	12,762,826	人件費	12,680,349	歳出	指定管理料	27,018,000	指定管理料	25,343,000
	設備管理費	3,258,000	設備管理費	2,602,698		委託料		委託料	
	備品購入費	0	備品購入費			需用費	1,391,988	需用費	1,578,185
	修繕費	0	修繕費	455,768		役務費		役務費	14,780
	光熱水費	7,920,000	光熱水費	7,452,766		使用料・賃借料	396,865	使用料・賃借料	418,976
	事業費	3,175,000	事業費	2,418,207		修繕費		修繕費	
	事務経費	2,285,000	事務経費	2,321,439		工事請負費	936,360	工事請負費	
	本社経費		本社経費			備品購入費		備品購入費	38,664
	その他	81,000	その他	382,134		その他		その他	
	計	29,481,826	計	28,313,361		計	29,743,213	計	27,393,605
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		727,553	差引	-27,813,060		-27,258,555	
人件費比率【人件費（賃金等）／平成30年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）									44.8%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

3

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績 (うち市内雇用職員数) 【公民館】館長 1名、副館長（主事） 1名、事務職員 2名 【老人福祉センター】所長 1名（公民館と兼務）、副所長 1名（公民館と兼務）、事務職員 2名 ※職員は全員長野市在住	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/>
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価
<p>地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。</p> <p>協定内容・指定管理者提案</p> <p>追加された内容、未実施の内容及びその理由</p> <p>【公民館】 ・地域のニーズに応じた学習を進める。 ・地域の課題を掘り起こし、地域内での人材発掘と育成に努める。 ・地域公民館との連携に努め、地域の活性化に努める。 【老人福祉センター】 ・各種講座・行事における地域ボランティアとの協力 ・地域における福祉活動者への会場提供</p>	3

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由	<p>実施した講座のうち満足、やや満足が90%以上と好評を得ている。不満な理由は回数が少なかったというものであった。また申込み期限内に講座定員に達し、申し込みを断る講座もあった。成人学校【公民館】、生きがいつくり【老人福祉センター】の発表会を開催、受講生が学んだ成果発表やアピールする場を提供したことから利用者評価を「4」とした。</p>
------	---

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<p>次年度においても引き続き質の高い施設活用、利用者サービス及び地域と連携した事業の実施に努めてほしい。</p>
------------------------	---

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

【公民館】

・各種講座や開催行事について、地区内で公民館報（年2回発行）やチラシを回覧し、広く周知した。・公民館報をとおして、公民館の各種事業や各地域公民館の活動を宣伝・アピールした。・「使用団体説明会」を2月に開催し、各団体・サークルがより適正な使用申請及び施設使用ができるよう説明・指導した。・可能な限り、地域または近隣地区に居住する人材に講座の講師を依頼するようにした。・各種成人学校の発表会を開催し、受講生が学んだ成果を披露・アピールする場を提供した。・照明をLEDに変更したことにより館を訪れる人から明るくなったと評判がよい。
・利用者の声を聞き、音響装置の修繕を行った。

【老人福祉センター】

・各種講座や開催行事について、地区内でセンターだより（年3回発行）やチラシを回覧し、広く周知した。・センターだよりをとおして、センターの各種事業を宣伝・アピールした。・各種「生きがいづくり講座」の発表会を開催し、受講生が学んだ成果を披露・アピールする場を提供した。

② 業務の効率化に対する取組み

公民館職員・老人福祉センター職員共に貸館や図書館の図書貸出し業務を行えるため、利用者を待たせずに対応ができる。

【公民館】

・各種成人学校及び学級講座ごとにアンケートを実施し、以後の事業に反映するようにした。
・老人福祉センター担当職員との協力を深め、事務・事業とも相互に応援し合う体制作りをした。

【老人福祉センター】

・公民館担当職員との協力を深め、事務・事業とも相互に応援し合う体制作りをした。

③ その他

3

(2) 指定管理者業務実施上の課題

【公民館】【老人福祉センター】共通

・施設の老朽化に伴い、修繕や備品の更新に係る費用が増加が見込まれる。
・公民館施設とすると「多目的ホール（文化ホールの）」貸館に対する対応を丁寧にする必要がある。
・多目的ホール、大教室のほか貸出部屋数が多いけれど、駐車場が少ない。

(3) 総合評価

評価基準（計画＝事業計画）

【A】計画や目標を大きく上回る

【D】計画や目標を下回る

【B】計画や目標を上回る

【E】計画や目標を大きく下回る

【C】計画や目標どおり

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

前年度で人気のあった講座を継続開催し、人気の少ない講座は開催をやめる一方、新規の講座を企画・開催して、事業内容の維持と充実を図った。ステレオミキサー等利用者の要望があった修繕は、改修することができた。アンケートをとおして利用者ニーズを把握した。

② 次年度以降の取組み

【公民館】【老人福祉センター】共通

・アンケートや聞き取りなどから利用者の要望を反映させた講座等の企画を行う。
・男性が参加しやすい講座を開催する。
・ボランティアの育成に努める。
・HPの立ち上げを住民自治協議会が実施するため、情報発信をしていきたい。